


地域がん診療連携拠点病院<川崎市立井田病院からのお知らせ>

第76号 井田山

基本理念「井田病院は、自治体病院として、市民から信頼され、市民が安心してかけられる病院づくりを目指します。」

当院ホームページをご覧ください

市立井田病院 

発行責任者 田中 良典

編集 川崎市立井田病院 ホームページ・広報委員会

川崎市中原区井田2-27-1

電話 044-766-2188 (代)

当院へご受診の場合は、「かかりつけ医」に診療情報提供書（紹介状）を書いていただき、ご持参いただきますようお願いいたします。

♪東京交響乐团による弦楽四重奏コンサートが開催されました♪



令和4年10月11日（火）16時より1階玄関ホールで東京交響乐团による市内巡回コンサートを開催しました。モーツァルトからドヴォルザークまで全11曲の演奏に酔いしれました。

コロナの影響で3年ぶりとなりましたが、ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロの音色が心に染みわたり、改めて音楽による「癒し」の力は偉大だなと感じました。

一日も早くコロナが終息し、地域の方々にも院内コンサートに足を運んでいただける日がくることを願うばかりです。

〈文責：看護部 大溝〉



診療科紹介 ～乳腺外科～

当院では2012年より乳腺外科を独立させました。当初は年間20件程度だった乳がん手術も、お陰様で現在では年間150件ほどにまで増え、外来の受診件数も現在は年間に約5000件となり、周辺地域の多くの患者さんにお越しいただけるようになりました。私が当院に赴任してから11年が経過しますが、当院で診断から手術に至り、術後10年目を無事に迎え外来を卒業されていく方も多くなってきたことは感慨深いものです。

乳がんという領域は薬剤の開発がとても盛んで、毎年のように新薬が開発されております。当院は慶應義塾大学病院の関連施設であると同時に、神奈川県内の乳腺外科医とも研究会や講演会を通して仲良く連携させていただいておりますので、そうした情報に置いていかれることなく常に最新の標準治療を患者さんにご提供できるように努めております。

また、当院は乳がん手術の入院期間が短いのも特徴です。平均在院日数は約4日間と全国でトップ10に入っております。これは決して早く帰すということではなく、術後の経過が順調であるということをお自負しております。お仕事をあまり休めないという方や、家庭のことが心配で何日も留守にできないという方にも安心して治療していただけるよう心がけております。

乳がんの最近の治療法についてご紹介させていただいても良いのですが、あまりにもマニアックな話になってしまうので、外来で患者さんからよくご質問いただくような事例をご紹介します。

Q&A うちの家系に乳がんの人は居ないのに、どうして私が乳がんになったのですか？

遺伝性乳がんの中で有名なものに「遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)」というものがありますが、こうした遺伝性乳がんは全体の5-10%程度です。つまり、90-95%の方は遺伝とは無関係に発症します。誰でも乳がんになり得るので、他人事とは思わずに必ず検診を受診してください。

井田病院では人間ドッグ、各種健診を実施しています。詳しくはホームページをご覧ください。井田病院代表電話番号にお問合せください！

Q&A 私が乳がんになったのは、食べ物の嗜好のせいでしょうか？

ほとんど関係ありません。昔は乳製品や大豆を多く摂取すると乳がんになりやすいなどといった情報が出回っておりました。嘘です。大豆の中に含まれているイソフラボンが女性ホルモンであるエストロゲンと分子構造が類似しているために、エストロゲンに依存する乳がんの発生も増加するのではないかと考えられた時期もありましたが、実際にはイソフラボンを多く摂取しているの方が乳がんの発生率が低くなることが証明されています。食べ物は栄養に偏りが無いようにまんべんなく色々な物を摂取していれば、基本的には発がんとはあまり関係がないと考えていいです。

Q&A 自治体の乳がん検診は2年に1度ですが、不安なので毎年受けたいのですが…

基本的に2年に1度で十分です。これは過去に大規模な臨床研究が行われて、「毎年検診をした群」と「2年に1度の検診の群」とで、乳がん発見時のステージに差がなかったという結果に由来しています。乳がんは細胞が『がん化』してから検診で発見が可能な約1cmの大きさになるまでに、平均して約10年かかるといわれています。なので、その10年間に毎年検診をしていても、2年に1度の検診をしていても、結局は発見されるのは10年目になった時なので、そこに差が無いのです。むしろ、毎年マンモグラフィを撮影することは生涯の被曝量を増やしてしまい、『二次がん』の発生率を高めてしまう危険性もあるので推奨されません。

Q&A マンモグラフィ検査は痛いので、超音波検査だけで十分ですよね？

いいえ、マンモグラフィもとても重要な検査です。乳がんの初期症状は、腫瘤ではなく微小石灰化という形で現れることも多く、こうした微小石灰化は超音波検査よりもマンモグラフィの方が検出力は格段に高いのです。つまり、極早期の乳がんはマンモグラフィにて発見されます。そのため乳がん検診では超音波検査ではなくマンモグラフィが推奨されています。補足すると、腫瘤の検出力は超音波検査の方が高いので、マンモグラフィと超音波検査を併用するのが良いということになります。（当院では自治体の乳がん検診にオプションで超音波検査を追加できます！）

どうぞ、外来を受診されてなんでも聞いてください。乳がんのことはもちろん、乳房の心配に関してはいつでも親身にご相談に乗ります。男性医師に抵抗のある方は、月・木・金でしたら女性医師も外来に出ています。その旨をお伝えいただければ対応できますので、ご安心ください。

〈文責：嶋田 恭輔（乳腺外科部長）〉

中原区民祭に出展しました！

令和4年10月16日(日)に川崎市立井田病院として中原区民祭に出展しました。奥医師による講話を行い、サルコペニア(筋肉や筋力が低下した状態)チェックとフレイル(年齢に伴って筋力や心身の活力が低下した病態)チェックを実施しました。参加者は、興味深そうにチェックを行い、実年齢より若いことに喜んでいました。概ね、健康な方が多かったです。

講話後は、奥医師と福原医師による健康相談を行いました。
(各回2～3名が相談)

講話時間以外では、子供連れの家族やご夫婦等による握力測定も人気でした。

井田病院のチラシは、各講義前にお祭り広場やステージ前で配布し、来場を呼び掛けました。

今回は、川崎病院・井田病院の文字が入ったタペストリーを掲出し、また椅子にも病院名が記載された広報用のカバーを掛け、来場者に川崎市立病院をアピールできたと感じています。



〈文責：医事課 荒川〉

市内産の多摩川梨を使った食事を提供しました！

食養科です。4月ののらぼう菜に続き地産地消第2弾として、令和4年8月24日に多摩川梨を提供しました。

多摩川梨は川崎市をはじめ多摩川流域で栽培されている梨の総称で、今回はしゃきしゃきした食感が特徴である幸水を提供しました。多摩川梨といえば長十郎が有名ですが現在では栽培量は少なくなっています。

今回の梨の提供にあたって、メッセージカードとアンケート用紙をあわせて配布したところ、患者さんからは「地元でとれる梨がこんなにおいしいとは知りませんでした。」「川崎愛が感じられました。」など20を超えるご意見をいただきました。

今後も年4回程度、川崎の食材を使った献立を提供していく予定です。

〈文責：食養科 亀山〉



🚌 デマンド交通「チョイソコかわさき」の実証実験が開始されました 🚌

この度、中原区と高津区の一部地域において、「チョイソコかわさき」の実証実験が開始されました。

「チョイソコかわさき」とは、電話やWEB予約で車両を呼び出し、行きたい停留所まで乗車できる乗り合い送迎サービスで、川崎市の支援の下で民間事業者が運営しています。停留所は井田病院の正面玄関前の他、中原区役所や武蔵中原駅前、スーパーや薬局、住宅地など、利用頻度の高い施設等を中心に、域内を網羅するように約100か所設けられています。

実証実験は令和4年11月2日（水）から令和5年2月27日（月）までの間で予定されており、月、水、金、土、日の週5日（祝日含む）の9時から17時まで運行し、1回の乗車料金は300円となっています。実証実験の結果によっては本格実施に繋がる可能性もあります。

「チョイソコかわさき」が当院の利用者の皆さまや、周辺にお住いの皆さまにとっての外出支援に少しでも繋がればと思っております。御興味のある方は当院ホームページや院内の案内チラシを御覧ください。

井田病院の発着地



実証実験開始日の11月2日（水）にさっそく利用者がいらっしやいました。



運航エリア

● 電話予約

チョイソコセンター
050-8892-6510
(運行日の9~12時)

● WEB(LINEアプリ)

24時間受付
(予約時間の30分前まで可能)



〈文責：庶務課 足立〉